

たち しづま 静馬

県政報告令和3年度版
令和3年7月発行



たち静馬事務所
〒311-4163 水戸市加倉井町499-5
phone 029.257.7000
fax 029.257.7771

平成31年・令和元年の活動

議会運営委員長に就任



県議会のペーパーレス化に向けて骨子をつくりました。

保健福祉医療委員会で活動



茨城県議会史上初の条例改正の提案者となる。

平成31年第一回定例会保健福祉医療委員会において、LGBTなど性的少数者のカップルをパートナーとして公的に認める証明書を発行する「パートナーシップ制度」を時期早々と反対し、県政史上初となる条例案改正の提案者となり、テレビ、新聞等で報道される。

発言内容

「一番申し上げたいことは、性的指向及び性自認を理由とした不当な差別的取り扱いは行ってはならない。」
この事に我々いばらき自民党は如何反対をするものではありません。この条例を受けて、まずは啓発や、市町村に対してきちんと理解を求めていくことが先であるという考え方であります。同時に「カミングアウトができる社会ではなくて、カミングアウトをしなくてもよい社会を実現していかたい」ということが、いばらき自民党の目標であります。

平成31年第一回定例会 一般質問



- 1 偕楽園の有料化と魅力向上について
- 2 これからの医師確保対策について
- 3 がん検診体制の整備について
- 4 特別支援教育の新たな体制づくりについて
- 5 本県の魅力向上に向けた取り組みについて
 - (1) 地産地消におけるトップブランドづくり
 - (2) 「食」をメインとした観光振興

平成31年第一回定例会 予算委員会質問



- 1 県立あすなろの郷について
- 2 犬猫殺処分ゼロへの取り組みについて
- 3 「輝く茨城の先人たち」について

令和元年第二回定例会 予算委員会 関連質問



加藤明良県議の偕楽園有料化と偕楽園周辺エリアの将来構想について関連質問をし、水戸市選出同志で知事へ提案をする。

その他の活動



国交大臣に酒門交差点立体化の陳情



茨城県ドッジボール協会会長として



犬猫殺処分ゼロを目指しての運動



日本釣振興会茨城県支部長として(茨城ビルフィッシュトーナメント、海の清掃活動)



発言数・提案数・政策力 県議会



新型コロナ感染対策の活動

新型コロナウイルス関連経費

区分	一般会計歳出			(単位：億円)
	R元年度	R2年度	R3年度*	
①感染拡大防止策と医療提供体制の整備等	2	1,181	952	2,135
②県民生活等への支援	6	357	119	482
③県内産業等への支援	—	940	1,210	2,150
④予備費	—	27	27	54
計	8	2,505	2,308	4,821

*6月補正（追加提案分）までを計上

令和2年4月臨時議会（コロナ対策の緊急臨時県議会）初めての「いばらき自民党としての代表質問」

1 新型コロナウイルス感染症拡大防止策について

- (1) 保健所の機能強化・人員確保
- (2) 医療機関等における対応
 - ア 検査・診療体制の整備
 - イ 医療人材の確保と現場のケア
 - ウ 新型コロナウイルス感染者以外の疾患者への対応
- (3) 感染者等へのケアと配慮
- (4) 感染拡大防止に向けた大胆な施策



2 経済対策及び各産業への支援について

- (1) 中小企業・個人事業主への緊急支援
- (2) 飲食業、観光業への支援施策

3 教育機関への対応について

- (1) 円滑な学校再開に向けた対策と準備
- (2) 休校中における学習支援及び再開ができない場合の対応



◆コロナ後の観光施策を推進するため、いばらき自民党観光振興議員連盟幹事長として北関東3県（茨城県・栃木県・群馬県）が連携をする。



令和元年 東日本台風洪水での活動報告

消防団、ボランティアとしての活動

国、県に水戸市と要望をし「那珂川水系緊急治水対策プロジェクト」が始動しました！

1、多重防護治水の推進

- ①河道・流下能力の向上
- ②遊水・貯留機能の確保・向上
- ③土地利用・住まい方の工夫

全体事業費 約 665 億円 [国 521 億円、県 144 億円]
災害復旧 約 218 億円 [国 101 億円、県 117 億円]
改良復旧 約 447 億円 [国 420 億円、県 27 億円]

事業期間 令和元年度～令和6年末

目標 東日本台風洪水における那珂川からの越水防止



消防団員として夜の8時から朝7時まで、土嚢積みや水位確認をする。国田地区の越水時には住民の避難誘導を行いました。



災害ボランティアとして被災発生の翌日から1週間、朝から晩まで活動しました。活動しながら被災した方からの生の声や被災状況を把握できたことは後の復旧活動に大変役立ちました。

被災地の視察調査と要望活動



県土木部長水戸市長と被災地の説明と復旧要望

飯富・岩根地区の被災状況調査

災害ゴミについて
水戸市長から説明聴取

令和2年の活動

県監査委員に就任



監査委員として、知事に決算意見書を提出する。

◎ジンベイザメ展示 130 億円（最終的には 300 億円超）の予算を主導的に減額修正する。
(茨城県議会では 71 年ぶりの予算案減額修正となる。)

※茨城県でコロナ感染者が初めて確認された時期であるが、これからコロナ感染者が県内で増えるはずであり、その対策にいくらお金がかかるかわからない時に、ジンベイザメに 130 億円も費やすべきでないと主張し減額修正へ導きました。現在のコロナ感染の蔓延を考えると適正な判断であったと言えると思います。

◎新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として「いばらきアマビエちゃん」を導入にも、当初は、登録しない店舗には罰金を課すというものでしたが、逆に協力金を出して導入するように提言をしました。

◎コロナ対策として、様々な団体からの要望について取りまとめに奔走し、いばらき自民党として知事要望書を手渡す。

いばらき自民党政調会筆頭副会長に就任

